

友の会だより

編集 みさと協立友の会

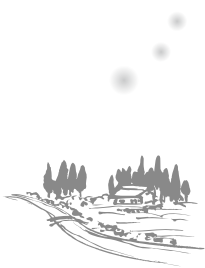
048-959-1811 No.91

ちよつと いい話 ⑮

「たった一人の おじさんなんだから」

「おめさん(あなた) 大丈夫なんだかね」
故郷(新潟)の姪っ子からの電話でした。どこか怒気さえ感じられました。
「なんとか元気にやってるよ」
「てえへん(大変)だと聞いて顔見に行かねばのうと妹と相談してたこてや」
私が心臓や肺疾患で入院したり検査続きで体調を崩していることを兄嫁がよほど誇張して伝えたらしい。
「駄目だこてや、身体いとわねば。前も言つたらに」
しばらくの沈黙の後こう言いました。
「ほんとにもう。おめさん、たった一人のおじさんなんだからね」
故郷を出たことがない彼女は、方言丸出し。懐かしく、温かく、情が伝わってくる。まぶたを熱くしました。
私が東京に出てくる一九六〇年まで古いからぶき屋根の下で母、義兄夫婦と姪・甥の八人で暮らしていました。姪・甥たちとは兄妹のように育ちました。一番上の姪は私と三つ違い。おっとり、素直な性格で、農仕事の手伝いをよくしました。電話をかけてきたのはこの子でした。
越後は雪の国。
♪雪やこんこ あられやこんこ 降っては降っては ずんずん積もる：
雪が降るとみんなで歌ったものです。
またー
♪もういくつねるとお正月 お正月にはタコあげて：
大晦日の前日、ペタン、ペタン。杵の音が響いて餅つきが始まる：
眼を閉じると鮮やかに浮かんでくる子供のころの思い出。
歳月は茫々と流れ、六〇年が過ぎました。甘ったれたった甥はすでに亡く、姪たちは

それぞれ結婚し、子を育て、年を重ねました。電話をくれた一番上の姪も農家に嫁ぎ、子を育て、舅姑の介護をして看取り、懸命に働き、生きてきました。歯医者に通うくらいで病気をしたことがないという彼女は、電話中も冗談を言っては笑わせてくれます。子供のころの彼女からは想像できません。
「たまには帰ってこいば。みんなで温泉に行こいね」
たった一人のおじさんと言われ「男はつらいよー」ばくの叔父さん」を思い出しました。
ふいに旅に出る寅さんにはいつだって待っている故郷があります。でも、私にはもう帰るべき家はありません。
(玄間太郎)



みさと協立病院健康まつり 開催のお知らせ

2023年
日時：10月 28日(土)
午前10:00~12:00
場所：みさと協立病院



会費納入にご協力ください(ゆうちょ銀行)
口座番号 00510-4 記号番号 44659
みさと協立病院友の会 中川 一秀

題 「蟬」

第百四十九回 友の会【川柳の会】

鳴き終えた蟬の亡骸運ぶ蟻
そうじ機に負けじとセミが鳴きつづけ
鳴くセミの命と我が身重ねてる
じーじーと鳴くな丸い背気にしてる
人間はきみから見たらどう見える
八日目は迎える日なく声かぎり
蟬時雨妻の小言と競い合う

信子
みさこ
智子
たけどん
良子
みねこ
あららき

みさと協立友の会 第28回 定期総会のご案内

日時：2023年 9月30日
13:15~15:15
会場：三郷市文化会館視聴覚室
開場：13:15
第1部 総会 13:30~14:30
第2部 原水禁世界大会報告
14:40~15:00

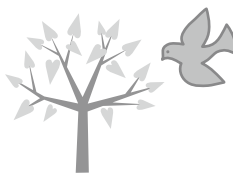
サークルのお申し込み、お問い合わせは友の会事務局 048-959-1811 総務課まで

笑いの玉手箱
川柳の会
毎月第4木曜日
午後1時30分~
3時30分
場所：いこいの家717

課題作品 3句
自由作品 3句
を持ち寄って、内容を吟味します。
投稿だけでも歓迎です。

ボランティア活動者の交流 ボランティア班

3ヶ月に1度程度の割合で、ボランティア活動者の交流会を行い、活動の交流や学習を行ないたいと思います。



ちよつと出かけて みませんか?

小さな旅の会

3ヶ月に1回くらい
出掛けます。

費用は行き先で決まります。

